

## 基本方針

1. 歴史と伝統のある学生スポーツとしてのアイスホッケーのメジャー化
2. 全国の高校生をはじめとしたジュニア世代が憧れる大会への発展
3. 学生スポーツとしてのフェアプレイ精神の向上
4. 連盟（レフェリー・競技役員）と参加チーム（大学）の相互協力による運営基盤の強化

## 平成 27 年度 ランキングおよび Division (ディビジョン)

ランキング	Division	大学名	
1	Div. I	明治大学	
2		Group-A 8 チーム	中央大学
3			東洋大学
4			早稲田大学
5			法政大学
6			慶應義塾大学
7			日本体育大学
8			日本大学
9			Group-B 6 チーム
10		東海大学	
11		大東文化大学	
12		青山学院大学	
13		立教大学	
14		神奈川大学	
15	Div. II	昭和大学	
16		筑波大学	
17		東京大学	
18		国土舘大学	
19		上智大学	
20		駒澤大学	
21	Div. III	明治学院大学	
22		慶應義塾大学医学部	
23		順天堂大学	
24		東京学芸大学	
25		一橋大学	
26		帝京大学	
27		成城大学	
28		東京都市大学	
29	Div. IV	首都大学東京	
30		日本医科大学	
31		山梨学院大学	
32		横浜国立大学	
33		獨協大学	
34		学習院大学	
35		千葉大学	
36		埼玉医科大学	
37	Div. V	東京慈恵会医科大学	
38		都留文科大学	
39		工学院大学	
40		東京理科大学	
41		拓殖大学	
42		武蔵大学	
43		杏林大学	
44		明星大学	
45		立正大学	
46		東京医科大学	

# 大会役員

会長	原田 博						
副会長	植木 孝	内田 悦嗣	長田 眞	藤木 幸太	堀口卓司郎		
実行委員長	細谷 康次						
実行副委員長	佐藤 茂						
運営委員長	中村 経彦						
運営副委員長	田中 忍	浜野 清司	三宅 正彦	村井 範幸			
運営委員	新井 清弘	石橋 俊基	小松 正樹	佐藤 克己	佐藤 深雪	三邊 武彦	
	鈴木 浩志	龍ノ口佳弘	中山 美幸	林 賢一郎			
審議委員長	細谷 康次						
審議副委員長	佐藤 茂	小松 正樹					
審議委員	龍ノ口佳弘	田中 忍	中村 経彦	中山 美幸	林 賢一郎	村井 範幸	
レフェリー委員長	小松 正樹						
レフェリー委員	公益財団法人日本アイスホッケー連盟登録レフェリー ※ 学生レフェリー (Division I・II・III)						
競技委員長	田中 忍						
競技副委員長	浜野 清司	林 賢一郎					
競技委員	小野 三男	松本健次郎	大井 喜由	関 加奈代	山田 久乃	中山 美幸	
	松永 晃	吉本 帆住	佐藤 仁美	橋本 大樹	月村 三恵	宮澤 雪	
	荒木 理沙	上條 里紗	富田千恵子	窪田 好恵	垣田真奈美	原口真悠子	
	相澤 大地	洗 楓	前場 里紗	碓井 絵梨	久光 胡紅		
	※ 学生当番校						
学生委員長	森田 恭平 (首都大学東京)						
学生副委員長	安田 憲太 (東京大学)						
学生委員	田中 陽菜 (首都大学東京)		三津 拓夢 (首都大学東京)				
	芦澤 央将 (一橋大学)		小堀 将寛 (一橋大学)				
	辻 優介	中島 健登	乾 純也	矢野倫太郎	宮川誠一郎	二塚 亮太	
	田村 心	野村 光平	川上 朝日	畑中 大季	大久保健介	田中 寛之	
	栃木健太郎	安藤 日和	重野 佑芽	鈴木 隆太	浜田晋太郎	長谷川満義	
	清野 竜馬	佐藤 海斗	千葉 航輔	米倉 巧	北原 涼大	中村 明弘	
	細川 俊介	清水 洋平	遊佐 晃徳	小野坂嘉敬	宇野 愛衣	飯田 奎冴	
	近藤 拓真	大桃 達哉	斉藤 宏紀	松崎 紘佑	稲葉慎太郎	泉田 航	
	中村 一貴	野田 一樹	濱野 集	渡邊 健斗	駒形 成哉	板倉 健人	
	坂本 宏基	島 雄吾	弓立 大	宮坂 啓史	西野 陽介	松澤 知也	
	讃岐 尚之	伊藤 稔	飯塚 昌弘	井田俊太郎	吉田健太郎	板屋 光政	
	福山礼士郎	渡邊 健太	田口 萌菜	高橋 慧	松本 嗣弘	飯塚 武	
	細川裕太郎	會田 和司					
連盟大会事務局	中村 経彦	山下 烈	佐久間尚子				

## 大会要項

1. 大会名称 平成 27 年度関東大学アイスホッケーリーグ戦
2. 主催 一般財団法人東京都アイスホッケー連盟
3. 協賛 茨城県アイスホッケー連盟・神奈川県アイスホッケー連盟・埼玉県アイスホッケー連盟  
千葉県アイスホッケー連盟・山梨県アイスホッケー連盟
4. 後援 公益財団法人日本アイスホッケー連盟・毎日新聞社・スポーツニッポン新聞社
5. 期間 平成 27 年 9 月 5 日（土）～ 12 月 20 日（日）
6. 会場 DyDo ドリンコアイスアリーナ TEL 042-467-7171 〒 202-0021 東京都西東京市東伏見 3-1-25  
東大和スケートセンター TEL 042-566-6411 〒 207-0022 東京都東大和市桜が丘 1-1330-19
7. 大会事務局 〒 202-0021 東京都西東京市東伏見 3-1-25 ダイドードリンコ内  
一般財団法人東京都アイスホッケー連盟 TEL 042-467-8282 FAX 042-468-2131
8. 参加資格・登録◆選手及び役員は、平成 27 年度の公益財団法人日本アイスホッケー連盟登録完了済みである事。  
但し、大会開始（平成 27 年 9 月 5 日）以降の選手の追加登録は原則認めない。  
◆選手登録人数が 10 名に満たなかったチームは、今大会に限り参加資格を失うものとする。  
但し、Division III・IV については選手登録人数が 8 名以上（GK1 名を含む）、Division V については  
選手登録が 6 名以上（GK1 名を含む）で参加資格を持つものとする。  
◆大学院生は参加資格を持たない。
9. 順位決定 ポイント制により決定する。（詳細は競技要項による。）
10. 表彰式 平成 27 年 11 月 29 日（日） Division I -A・I -B～II 20 時～（DyDo）  
平成 27 年 12 月 19 日（土） Division III～V 20 時～（DyDo）  
\* チーム表彰は各 Division I -A・I -B・II～V までの 1 位～3 位チームを表彰する。  
\* フェアプレー賞は、Division I -A より、全試合の反則総時間÷試合数が最小のチームを表彰する。  
\* 個人表彰は各 Division I -A・I -B・II～V までの最優秀選手賞（1 名）と最多ポイント賞をそれぞれ表彰する。  
\* 最多ゴール賞及び最多アシスト賞として Division I -A からそれぞれ表彰する。  
\* ベスト 6 賞は Division I -A・B グループから、それぞれ表彰する。  
◆各チーム、キャプテンを含め 5 名以上参加し、ユニホーム・チーム旗・スケートシューズを持参すること。
11. 保険の加入 大会参加チームは保険に加入し、保険証券または保険申込書（加入者がわかる明細込）のコピーを必ず提出すること。  
◆ 8 月 25 日以降、9 月 4 日までに、連盟事務所へ届ける。
12. 入場料 一般 1,000 円 高校生・中学生・小学生 500 円
13. 大会参加申込 指定様式に記載し平成 27 年 7 月 5 日（日）迄に電子メールにて提出する。
14. 大会費

参加費	・ Division I -A	84,000 円	
	・ Division I -B	62,000 円	
	・ Division II	44,000 円	
	・ Division III～V	42,000 円	
試合費	・ Division I -A	55,000 円	× 14 試合 = 770,000 円
	・ Division I -B	55,000 円	× 10 試合 = 550,000 円
	・ Division II	47,000 円	× 7 試合 = 329,000 円
	・ Division III～V	42,000 円	× 7 試合 = 294,000 円
	・ 入れ替え戦	50,000 円	

支払期限  
【厳守】

- ・大会参加費 平成 27 年 9 月 4 日 (金)
- ・試合費 平成 27 年 10 月 30 日 (金)
- ・順位決定戦・入替戦 (1・2) 平成 27 年 12 月 4 日 (金)
- ・入替戦 (3・4・5) 平成 27 年 12 月 21 日 (月)

※振込口座名

銀行名 東京三協信用金庫 東伏見支店 (店番号 016)

口座名 一般財団法人 東京都アイスホッケー連盟  
ザイ) トウキョウトアイスホッケーレンメイ

口座番号 0100388

預金種目 普通預金

◆ Division I -A グループ最終成績上位 2 チームに『第 83 回全日本アイスホッケー選手権大会』への出場権を与える。

## 競技要項

### 1. 競技方法・競技時間

#### Division I -Group A・Group B

全チーム 2 回戦総当たりのホーム & アウェー方式によるリーグ戦  
ホームチームの設定は、ランキング上位チームが 2 戦目をホームチームと設定する。  
正規 20 分×3 ピリオド 練習 10 分 休憩 12 分

#### Division II

全チーム 1 回戦総当たりによる予選リーグ戦  
予選リーグ上位 3 チーム、下位 3 チームに分かれ順位決定リーグ戦を行う。  
予選リーグ戦でのホームチームは、ランキング上位チームとする。  
順位決定リーグ戦のホームチームの設定は、予選リーグの上位チームとする。  
正規 15 分×3 ピリオド 練習 10 分 休憩 1,2 ピリオド間 5 分、2,3 ピリオド間 12 分

#### Division III～V

全チーム 1 回戦総当たりによる予選リーグ戦  
ホームチームの設定は、ランキング上位チームをホームチームと設定する。  
正規 15 分×3 ピリオド 練習 10 分 休憩 1,2 ピリオド間 5 分、2,3 ピリオド間 12 分

※ 全ての Division において、10 点差以上の得点差がついた時点で、次のフェイスオフ以降のゲームタイムについては、ランニングタイムとする。

#### ※ 順位決定

全ての Division において、勝ち点制度とする。

勝ち 3 点、引き分け 1 点、負け 0 点 とする。

(Division II：予選リーグでの勝ち点を、順位決定リーグへ加算して最終順位を決定する)

尚、勝ち点が同数の場合、次の規定により順位を決定する。

- ①勝ち点の多い順
- ②当該校の対戦成績
- ③当該校同士の試合での得失点差の大なるもの
- ④当該校同士の総得点÷総失点の商の大なるもの
- ⑤全試合の得失点差の大なるもの
- ⑥全試合の総得点÷総失点の商の大なるもの
- ⑦全試合のペナルティタイム (分) の小なるもの
- ⑧平成 27 年ランキング上位校

#### ☆ Division I 順位決定ラウンド

Group Final Round (グループ ファイナル ラウンド)

7 位 (Division I -A 7 位) VS 10 位 (Division I -B 2 位)

8 位 (Division I -A 8 位) VS 9 位 (Division I -B 1 位)

ホームチームの設定は、ランキング上位チームとする。

正規 20 分×3 ピリオド 練習 10 分 休憩 12 分

上記の試合で、第 3 ピリオド終了時同点の場合は、2 分間のインターバル後、4 on 4 のサドンビクトリー方式の 5 分間の延長ピリオドを行い勝敗を決する。

なお同点の場合は、IIHF の競技規則に基づき、両チーム 3 名ずつのゲームウイングショットにより勝敗を決する。

さらに同点の場合はサドンビクトリー方式による 1 名ずつのタイブレーク・ショット・アウトで勝敗を決する。

☆ Division I -B・IIの入れ替えについて

13位 (Division I -B 5位) VS 16位 (Division II 2位)  
14位 (Division I -B 6位) VS 15位 (Division II 1位)

ホームチームの設定は、ランキング上位チームとする。

正規 20分×3ピリオド 練習 10分 休憩 12分

上記の試合で、第3ピリオド終了時同点の場合は、IIHFの競技規則に基づき、両チーム3名ずつのゲームウイニングショットにより勝敗を決する。さらに同点の場合はサドンビクトリー方式による1名ずつのタイブレーク・ショット・アウトで勝敗を決する。

☆ Division 間の入替について

Play-Off Division Series (プレーオフディビジョンシリーズ)

19位 (Division II 5位) VS 22位 (Division III 2位)  
27位 (Division III 7位) VS 30位 (Division IV 2位)  
35位 (Division IV 7位) VS 38位 (Division V 2位)

ホームチームの設定は、ランキング上位チームとする。

正規 15分×3ピリオド 練習 10分 休憩 1,2ピリオド間5分、2,3ピリオド間12分

上記の試合で、第3ピリオド終了時同点の場合は、IIHFの競技規則に基づき、両チーム3名ずつのゲームウイニングショットにより勝敗を決する。さらに同点の場合はサドンビクトリー方式による1名ずつのタイブレーク・ショット・アウトで勝敗を決する。

自動昇格・降格

20位 (Division II 6位) 自動降格 ⇔ 21位 (Division III 1位) 自動昇格  
28位 (Division III 8位) 自動降格 ⇔ 29位 (Division IV 1位) 自動昇格  
36位 (Division IV 8位) 自動降格 ⇔ 37位 (Division V 1位) 自動昇格

2. 競技規則

東京都アイスホッケー連盟の定めるローカルルールを除いては、原則として国際競技規則及び公益財団法人日本アイスホッケー連盟の定めるローカルルールによるものとする。

特に、以下の規則に関しては、徹底するようにするものとする。

- 1) プレーヤーはバイザーまたはフルフェイスマスクの付いたヘルメットを着用しなければならない。  
顎紐と顎の間のゆとりは指1本分のみとする。バイザーは鼻が全て覆われるものなければならない。  
フルフェイスマスクの付いたヘルメットを着用する場合は、付帯のパーツを正しい位置に装着しなければならない。
- 2) グローブ・ヘルメット以外の用具は完全にユニホームの下に着用し、ユニホームはパンツから出して着用するものとする。

3. 補助規則

- 1) 連盟未登録選手が出場した場合は、その試合に限り没収試合とし、不戦敗(スコアは0対15)とする。
- 2) オールメンバー表に記載されていない選手は試合に出場できない。
- 3) プレーヤーはマウスガードを着用しなければならない。マウスガードの色は本体全部が白・ベージュ・クリア(透明)などでなく、着用していることを容易に確認できる色のものを使用すること。
- 4) 選手の怪我防止の観点から、プレーヤーの用具やユニホームが正しく着用されているかを確認するため、以下の手順を定める。
  - ① 整列時、正しく着用されていないプレーヤーには、直ちに改善することを指示し、チームに警告を与えるものとする。
  - ② 試合開始後、用具やユニホームを正しく着用されていないプレーヤーに対してミスコンダクト・ペナルティを科す。  
尚、これはレフェリーの判断によりペナルティを科すものであり、チームからのアピールプレーは一切受け付けられないものとする。
- 5) 練習中については、スーパーバイザーがヘルメットやストック等防具を正しく着用するよう監督し、是正させる。
- 6) 試合の際に役員(監督・コーチ等)のうち1名は必ずベンチ入りする事(ID着用しなければベンチ入りできない)。
- 7) ベンチには、GK2名・プレーヤー20名の計22名、役員は従来通り6名までとする。尚、外国籍を有する選手は3名以内とする。
- 8) タイムアウトは各Divisionの全試合で、各1回使用できるものとする。
- 9) オールメンバー表には、GK1名を必ず記載する事。また、オールメンバー表は練習開始45分前までに必ず提出する事。  
(記載漏れや間違いのないのを確認)
- 10) 試合当日(試合開始時) 試合を遂行するのに必要な最低人数(GK1名以上を含む選手8名)に満たないメンバーしか集まらないチームは、その試合を棄権したものとみなし、不戦敗(スコアは0対15)とする。  
(但し、Division VはGK1名を含む6名以上であればよい)
- 11) Division Iの各チームは最低2名以上(2年生以上)、Division II・IIIの各チームは最低1名以上(3年生以上、但しアイスホッケー経験者ならば2年生でも可)のレフェリー登録を義務づける。  
試合は必ず登録された者が担当する。
- 12) ホーム・ビジター制度は全てのDivisionの全試合において適用する。ホームチームはプログラムに記載されている対戦カードの左側とし、ベンチは本部席に向かって右に入る事。
- 13) スティック及び用具の計測は、1試合につき各チームそれぞれ1回ずつ行えるものとする。

14) ピリオド終了時、両チームが同一通路を使用してリンクより控室に戻る場合、原則としてホームチームから先に速やかに退場する。但し、リンクの構造上無理が生じる場合には、様々なケースを認める。その際、両チームが同時にならないよう、必ず一方のチームから退場する。

なお、後のチーム（氷上にいるプレーヤー・GK含む）は、一度自チームベンチに戻り、レフェリーの指示により退場する事。先のチームが故意に退場を遅らせたり、後のチームが故意に自チームに戻らなかった場合は、レフェリーの判断により違反したチームに対しベンチ・マイナーペナルティを科すものとする。

15) ベンチドアマンの取り扱い

①試合に出場しない選手登録をされている学生を2名以内、ベンチドアマンとして置くことが出来る。この場合、オールメンバー表のスタッフ欄に記載する事。(但し、役員6名に含まれない)

②ベンチドアマンは、棄権防止のため必ずフルフェイス・マスクの付いたヘルメットの着用を義務付けるものとする。試合前の整列時に、レフェリーがベンチドアマンの用具着用状態を確認し、正しい装備をしていない場合はその試合のベンチ入りを認めない。この場合、ペナルティ（ベンチマイナー）は科せられない。

16) 試合中、ベンチ内での写真撮影は禁止とする。

17) ベンチ入りする学生スタッフ（マネージャー・トレーナー）は危険防止のため必ずフルフェイス・マスクの付いたヘルメットの着用を義務付けるものとする。レフェリーは規定に違反している学生を発見した場合、チームスタッフに対して該当者をベンチから退場させるように注意する。個の場合、ペナルティ（ベンチマイナー）は科せられない。

4. 試合中の傷害

試合中に傷害を負った選手、チームは所定の用紙を持って一財)東京都アイスホッケー連盟に届ける事。また、試合中に起こった傷害に関して応急処置は行うが、その後は各チーム及び個人の責任とする。観客も同様である。

5. 罰則

チーム連絡会・レフェリークリニック・表彰式・オフィシャル当番校及び当番レフェリーに遅刻、欠席、棄権した場合や連盟の規約違反をした場合は、罰金から無期限試合出場停止までの罰則を科す。

6. ディビジョン枠

平成24年度から一部変更した。特別な理由がない限り、ディビジョン枠は変更しない

ランキング	Division	
1	Division I	Group-A (8 大学)
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9	Division II	Group-B (6 大学)
10		
11		
12		
13		
14		
15	Division II	Group-B (6 大学)
16		
17		
18		
19		
20		

ランキング	Division	
21	Division- III	Group-A (8 大学)
22		
23		
24		
25		
26		
27		
28		
29	Division- IV	Group-B (6 大学)
30		
31		
32		
33		
34		
35		
36		

ランキング	Division	
37	Division- V	Group-A (8 大学)
38		
39		
40		
41		
42		
43		
44		
45		
46		

ランキング 46 に東京医科大学が新規加入。

平成 27 年度  
関東大学アイスホッケーリーグ戦  
参加大学 44 大学